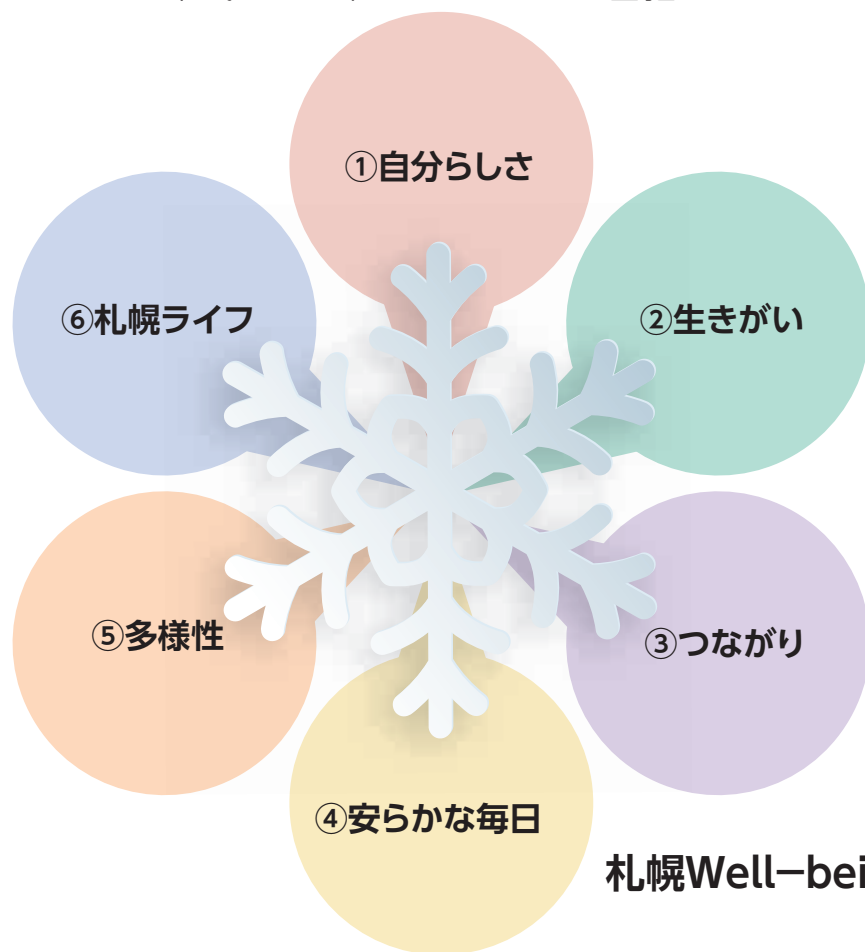


第3節 人口減少適応プロジェクト

1 市民が幸せになるための取組の強化

札幌市独自の主観的指標「札幌Well-being指標」を設定し、市民の満足度、幸福度などを数値化・可視化した結果を積極的に発信していきます。Well-beingを向上させるためには、市民一人一人の行動と意識が必要となることから、様々な手法を用いて、Well-beingの向上を自分ごとにしてもらいます。行政としては、各施策の立案・改善等に生かしていくことを検討することで、市民がより幸せになることを目指します。



市民へ発信

- 自身の幸せ、周囲の幸せを実感、振り返る
- Well-beingの向上を自分ごとに

行政で活用

各施策の立案・改善等に生かしていくことを検討

札幌Well-being指標:SWI (Sapporo Well-being Index)

第3節 人口減少適応プロジェクト

1 市民が幸せになるための取組の強化

札幌Well-being指標(SWI)の構造

1 今(又は5年後)の人生の幸福度をハシゴを登っていくイメージで回答します。最上段が10で最高の人生を表し、最下段が0で最低の人生を表します。あなたはハシゴの何段目に立っていると思いますか？

2 次に、以下の設問について、「該当・どちらかといえば該当・どちらでもない・どちらかといえば該当しない・該当しない・回答できない」でお答えください。

①自分らしさ	②生きがい	③つながり	④安らかな毎日	⑤多様性	⑥札幌ライフ
日々の生活で自分に誇りをもって過ごしている。	日々の生活に希望をもっている。	家族が楽しく過ごせていると感じる。	自分がしたいことをするための、欲しいものを購入するための経済的な余裕がある。	結婚して子どもを持つことこそ、人生の幸福だと考える人が多い。☆	札幌市の市民文化やライフスタイルが、生活を豊かにしていると感じている。
今の生活を楽しんでいると思う。	住んでいる地域に希望を持っている。	困ったとき、苦しいとき、辛いときに夫婦・パートナーで助け合える。	日々の生活を送るのに必要な所得や資産がある。	結婚しないで独身で生きても肩身の狭い思いをすることはない。	都会的な遊び、ファッションなど、余暇を楽しむ充実した環境が、生活を豊かにしていると感じている。
自分のすることと他者がすることをあまり比較しない。	多くのことを達成してきたと感じる。	友人に思いやりの気持ちをもって接している。	心身ともに健康であると感じている。	他人のことはあまり干渉しない雰囲気がある。	豊富で新鮮な食材や美味しい料理が日常生活を豊かにしている。
失敗や不安な感情をあまり引きずらないと感じる。	何かしらの目標を持っている。	友人が楽しく過ごせていると感じる。	適切な食事、栄養がとれていると感じる。	LGBTQなどについて、繊細な気づかいができる人が多い。	買物、娯楽、医療、文化など生活利便性が高く生活しやすい。
	夢中になれる活動(仕事・スポーツ・趣味・ボランティアなど)がある。	職場・学校・趣味等のサークルなどの人たちと絆が強く、信頼できる関係にある。		若者の挑戦を応援する気風がある。	都市と自然の両方を満喫するライフスタイルを楽しむことができる。
	目標達成に向けて、成長できる機会がある。	職場・学校・趣味等のサークルなどでの人間関係は良好である。		市外出身の人や外国人も、地域住民の一員として受け入れられていると感じる。	ゆとりがある、優しい、過干渉しないなどの札幌市民の気質が心地よい。
		職場・学校・趣味等のサークルなどの人たちに感謝の気持ちをもっている。		身体などが不自由な人への理解が職場などの身近なところで進んでいると感じる。	雪と共存した生活を楽しむことができる。
		困ったとき、苦しいとき、辛いときに職場・学校・趣味等のサークルなどの人たちと助け合える。		多少の経済的な差が生じて、経済成長の方が大切だと考える風潮がある。	四季それぞれと移ろいを楽しむことができる。
		居住する地域の人々に思いやりの気持ちをもって接している。		地域社会において息苦しさや窮屈さを感じる人が多い。☆	豊かな自然の中での活動を身近に楽しむことができる。
		居住する地域の人々との関係は良好である。			札幌市で生活していることに誇りを感じている。
		誰かと交流することが楽しい。			札幌市に観光や仕事で今より多くの外国人に訪れてもらえるようになることは、誇らしく思う。

※「☆」を付している設問は、該当する場合、多様性が低いと判定されます。